

経営比較分析表（平成28年度決算）

熊本県 美里町

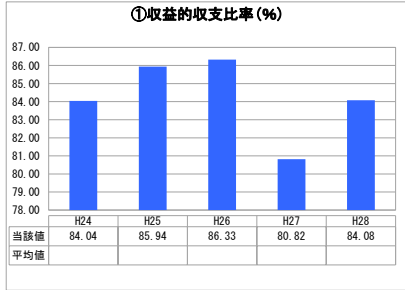
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定地域生活排水処理	K3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡ ³ 当たり家産料金(円)
-	該当数値なし	45.21	100.00	3,605

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
10,586	144.00	73.51
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
4,762	93.17	51.11

グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 平成28年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



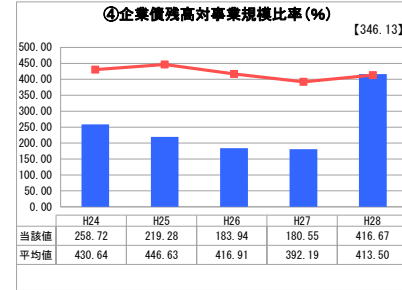
「単年度の収支」



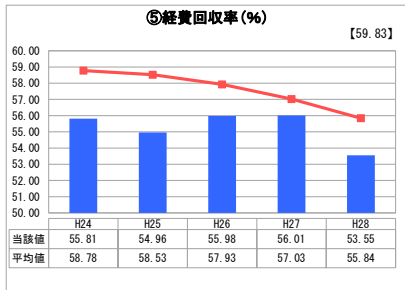
「累積欠損」



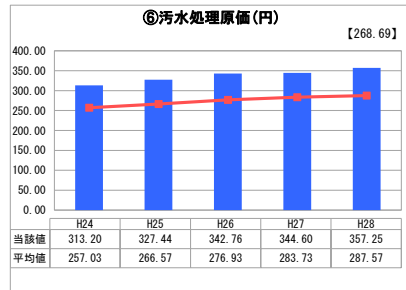
「支払能力」



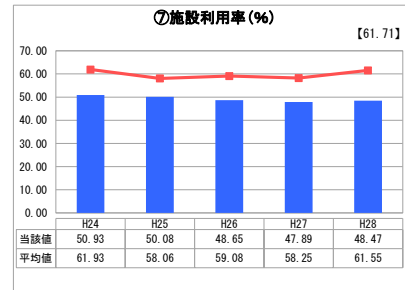
「債務残高」



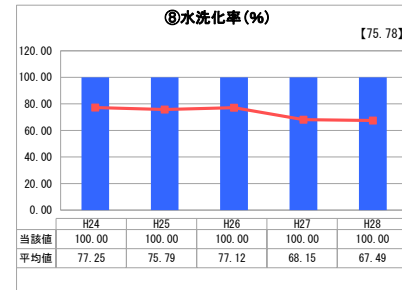
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

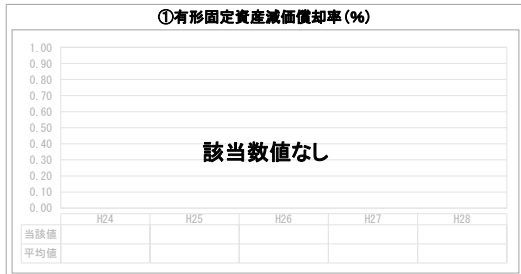


「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

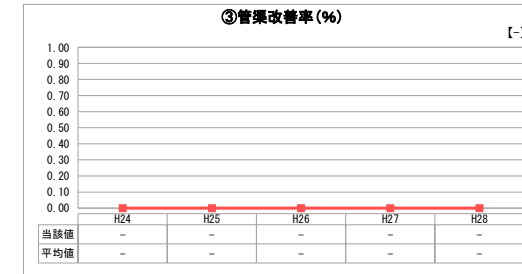
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析概

1. 経営の健全性・効率性について

- ・収益的収支比率の増加（要因）元利償還金の減少によるもの元利償還額比較
H27年度 26,940千円
H28年度 26,248千円
- ・企業債残高対事業規模比率の増加（要因）熊本地震の影響により、公営企業災害復旧事業債の増加及び、設置基数の増により起債の増加による・経費回収率の減少（要因）元金償還の措置期間が経過したため、地方債元金償還の増加及び前年度より設置基数の増加による・汚水処理原価の増加（要因）維持管理基数の増加
H24年度末 1,449基→H28年度末 1,601基（今後の対策）
- ・基準内繰り入れを行いつつ、赤字については、できる限り増加しないよう経費の削減並びに料金に見直しを必要に応じて行う

2. 老朽化の状況について

- ・美里町は浄化槽整備を、平成15年度より市町村整備事業で実施している。それ以前に設置された浄化槽については、無償による譲渡を受けているが、その中には経年劣化に伴う故障等が発生していることから、今後、このような事例が増えてくるものと思われる。（今後の対策）
- ・修理可能なものについては修理で対応し、修理が不可能若しくは敷設替えと比較検討した結果、敷設替えが有利と判断されたものについては敷設替えを行う。

全体総括

- ・美里町の汚水処理人口普及率は未だ53.2%で、急峻な中山間地の本町に於いて、早急に普及率向上を図るためには、浄化槽市町村整備推進事業による整備が経済的であり、他の下水道や農業集落排水事業に比べて、経営的には健全性・効率性が図れる。経営戦略策定時期は、必要な知見・人材が不足しており策定の時期を見込むことが出来ない。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。